

ヤーコンすりおろしゼリーのデザイン開発

【相手先企業】

水戸煮丁錦水

【目的】

本県は全国に誇れる原材料を産していながら素材の供給県に甘んじ、魅力的買い物空間づくりと魅力的な商品づくりが課題となっている。地域性をビジネスに結びつける要因のひとつに「健康」がキーワードにあり、地域の資源・技術を活用した開発としてデザイン支援した。

【内容】

1. 製品コンセプト

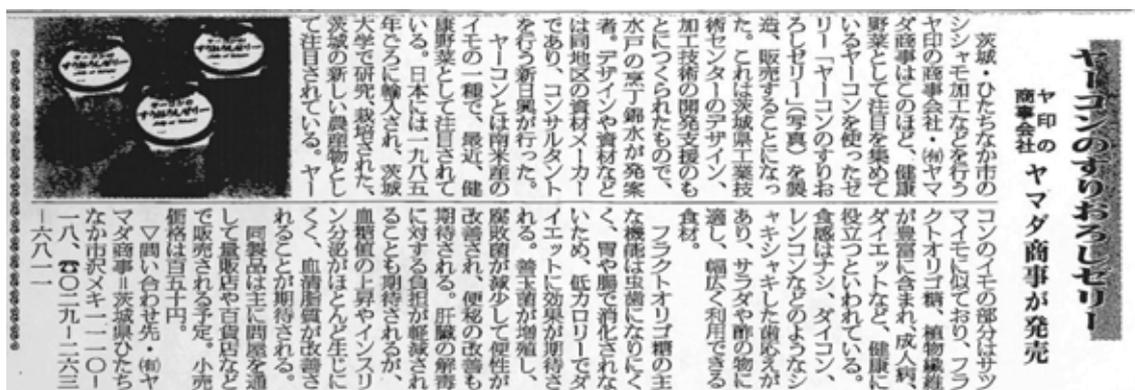
ヤーコンは雑誌、テレビ、ラジオ、新聞等で取り上げられ、茨城大学で研究・栽培されるなど、茨城の新しい農産物として育成されている。ヤーコンイモの食感は梨、ダイコン、レンコンのようなシャキシャキした歯ごたえがあり、デザートとしての市場性が見込まれている。

2. パッケージデザイン

最終的に購入する消費者の観点を重要視し、包装設計(包装形態、商品情報)を行った。包装形態は機能性・審美性を考え、店頭調査や文献調査により設計した。商品情報はネーミングやセールスコピー等の情報設計により、商品の特徴・特性を表現した。

【成果】

ゼリーという商品アイテムを念頭に置き、「生活者優先」といった観点を重要視したデザインができた。県産の農産物を活用し、健康をキーワードとした魅力的な商品としてビジネス展開したい。現在、商品を販売中である。



H14.9.6 日刊水産経済新聞

基礎となった事業：オンリーワン技術支援事業

新ブランド創造研究会（平成11年度～平成12年度）

担当部署：デザイン開発部 佐藤茂